

# ICTで支える 安心・安全な生活

キャリアガイド 2027



 総務省

近畿総合通信局



# 人と人をつなぐ、 安心・安全のICT

## Mission

人々のつながりを情報通信で支え、  
築き上げ、挑戦を後押しする

情報通信の本質は人々の「心」をつなぎ、満たすためにある。関西の「公正な電波利用」のために創立された当局は、時代の変化に対応しながら、情報通信環境を許認可や電波監視業務等で支え、安心・安全な情報通信を維持することにより人々のつながりを生み出すことに寄与する。生み出した人のつながりとデジタルによる関西のイノベーションを推進し、充実した挑戦を支える土台を作る。

## Vision

「ほっ、と」なつながりで心地よく、  
「HOT」なつながりで充実した関西へ

人情味あふれる関西はすなわち豊かなコミュニケーションのある関西といえる。つながり方が移り変わる現代でも「ほっ、と」する安心感と「HOT」な挑戦ができる魅力的な環境がコミュニケーションで共存することにより、便利で安全、笑顔あふれる充実した関西の実現を目指す。

# Value

## ● 地域に根ざした情報通信実現のために学び、進化し続けます

私たちは電波・電気通信・デジタル利活用等の専門家集団として、これからも学び、成長し続けます。また、関西の現状を深く理解し、常に寄り添っていけるよう、情報通信に込められた人々の思いを忘れずに、本質を見極める力も磨きます。

## ● 未来のために、今、この瞬間から行動します

私たちは目の前の現実を直視し、この瞬間にできることを積極的に行動に移します。これまで積み重ねてきた人々とのつながりや知見を活かして、自然災害や社会の変化等を予測して備えます。そして、未来を切り拓くために当事者意識を高く持って私たち自身も挑戦し続けます。

## ● 私たちだからできる、最良の方法を追い求めます

私たちは情報通信の価値に着目しつつ、それぞれの立場を思いやり、社会全体の最良の方法を追求します。変化する社会及び大きな経済圏、多様な観光資源等のある関西ならではのニーズを把握し、近畿総合通信局だからこそできることに誠実に取り組み続けます。

# Index

03 仕事紹介

12 ライフワークバランス

06 採用情報

13 先輩が教える働き方 Q&A

08 先輩の声

# 仕事紹介 Works



## 暮らしを支える 安心・安全の ICT「できたらいいなあ」を形に

電波の適正利用や通信インフラの整備、ICT の利活用推進などを通じて、近畿二府四県の安心・安全で便利な情報通信社会を支えています。行政・企業・地域と連携し、未来のデジタル社会づくりに貢献しています。

### Point 1

災害時における  
情報通信手段の確保

### Point 2

地域社会DXの推進

### Point 3

情報通信を安心・安全に  
利用できる環境の整備

## 情報通信部

### 社会のデジタル化を実現

#### 地域社会 DX の推進

デジタル技術で地域課題を解決し、暮らし・産業の変革を支援します

#### ICTベンチャービジネスの発掘

ICT で社会を変える挑戦をサポートします

#### サイバーセキュリティの強化

サイバー攻撃から社会を守る人材を育成します

#### ICTリテラシーの向上

インターネットの安心・安全な利用を考える取組を実施します

#### 光ファイバ等インフラ整備支援

どこでも高速インターネットが使える環境整備を支援します

#### 電気通信利用者保護の充実

通信サービスの安心・安全な利用を支援します



## 参考：電波って何に使われてるの？

周波数

>> 3kHz

VLF (超長波)

>> 30kHz

LF (長波)

>> 300kHz

MF (中波)



安心で安全に利用できる電波環境をつくるための規則を総務省が定め周波数の割り当てなども行っています

## 放送部 身近な放送、実はここから

### 放送・ケーブルテレビの許認可

テレビ・ラジオの放送局の無線免許手続きを行います

### 放送ネットワークの強靱化・耐災害性強化

災害等に強い放送体制整備を支援します

### 臨時災害放送局の活用支援

災害時の情報発信として設置・運用訓練を支援します

### 放送受信環境の整備支援

安定した放送受信環境の維持・継続を支援します

## 無線通信部 電波利用にはルールがあります

### 無線局の免許・登録手続き

電波を利用する幅広い無線局の免許手続きを行います

### 無線従事者資格の発給

無線局の運用に必要な国家資格を発給・管理します

### 電波の有効利用

限りある電波資源を管理し、社会を支えます

### 研究開発の推進

無線技術で社会や産業のDXを推進します

### 非常時通信ルートの確保

災害時にも途切れない通信体制の整備を行います



>> 3MHz  
HF (短波)



>> 30MHz  
VHF (超短波)



# 電波監理部

電波利用のルール破りは許さない

正しい電波利用の周知・啓発活動

電波を正しく使うためのルールを社会に発信しています

重要無線通信妨害への対策

見えない妨害源の探査を実施し、迅速に排除します

不法・違法無線局の一掃

無線局監視システムの活用、捜査機関と連携し対策を強化します

安心・安全な電波利用環境の維持

電波のトラブルを防ぎ環境を守ります



# 総務部

局の司令塔

総括・総合調整

近畿総合通信局全体の取りまとめを行います

人事・給与・会計・福利厚生

職員が安心して働ける環境を整えます

広報

組織の取組や情報を社会にわかりやすく発信します

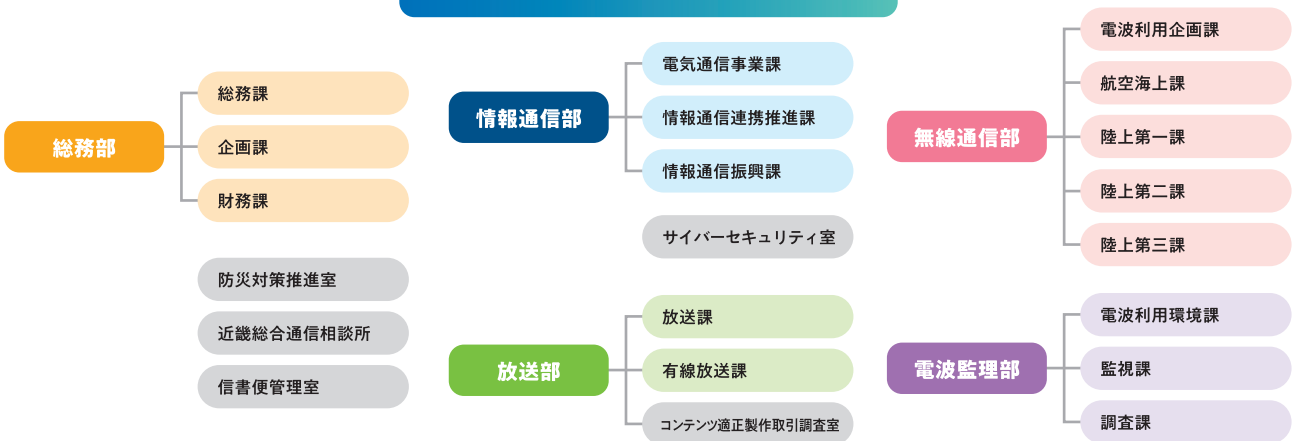
災害時における国・他機関との連携

通信機器の貸与や通信ネットワークの早期復旧を支援します

信書便制度の監督

信書便法に基づく事業の許可等を行います

## 組織図



>> 300MHz

UHF (極超短波)



地上波



WiFi

Bluetooth

>> 3GHz

SHF (マイクロ波)





## ICTの未来を担う皆さんへ 採用担当課長からのメッセージ

近畿総合通信局では、私たちの生活に身近なインターネットやスマートフォン、テレビやラジオ、くらしを支える警察、消防、鉄道、航空などの電波利用を快適、かつ、安心・安全に利用できるよう、日々、さまざまな業務に取り組んでいます。

また、ICT（情報通信技術）が進展を続ける中、地域課題解決のためのDXの推進や新たなビジネス創出に向けた支援を行うなど、人々のつながりを情報通信で支える近畿総合通信局の役割はますます重要になっています。

柔軟な発想と未来を切り拓く力で「ミライの関西」を私たちと一緒に作りませんか！

総務課長 赤崎正浩



入局後、約2年ごとにある人事異動で様々な部署の業務を経験することで専門性と行政力を身につけながら、国家公務員としてのキャリアを積んでいくことになります。採用3年目からの2年間は総務本省（東京都千代田区）での勤務があります。

また、地方自治体などで働く機会もあり、様々な組織経験や、人との出会いを通じて一人ひとりに合ったキャリアプランを描いていくことが可能です。（南極で働く機会も…）



>> 30GHz  
EHF (ミリ波)



>> 300GHz  
サブミリ波

>> 3THz

# 社会を 支える側に

見えない場所で、生活を守る仕事がある。  
その一員になりませんか。

## 入局後のスケジュール

4月

採用後、約1か月の集合研修を受けます。本省では総務省採用の新規職員が一同に集まるため、全国に仲間ができます。総務省全部局の仕事やビジネスマナー及び公務員倫理などを学びます。また、情報通信政策研究所では、情報通信分野の法律や無線通信・ネットワーク技術などの専門的な研修を受けます。

5月

近畿総合通信局に戻ると1週間程度の集合研修を受けます。ここでは局内の各課業務について学びますので、自分がどのような業務に携わるかのイメージを明確に持つことができるようになります。その後、配属先での研修も行われます。

6月

6月1日は「電波の日」。  
電波法施行を記念した式典にスタッフとして参加し、  
情報通信の歴史を実感するでしょう。

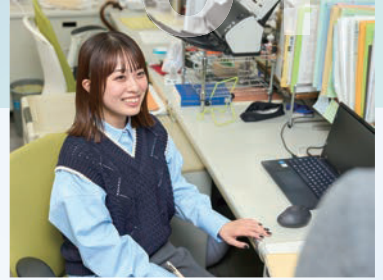
7月  
8月  
9月

課内では先輩職員や上司から実際の業務を通じて知識やスキルを習得する実践的な研修を受け、一つ一つの業務を習得し成長していきます。また、並行して数多くの職場研修が行われます。研修は座学だけでなく、所外研修を含む体験型も多く、業務との関わりや意義を学んでいきます。

10月

条件付任用期間が終了し、正式に近畿総合通信局の一員となり、本格的に業務に携わることになります。これからは意欲的に業務に取り組み、ICTで関西をより便利に豊かにできるよう一緒に頑張っていきましょう！





### 情報通信部 電気通信事業課

事業担当

令和6年4月採用

事務官（政策創造学部 出身）

## 身近にあふれる通信サービスを 支えるやりがいがあり、 サポートも手厚くしっかり成長できます

電気通信事業課の仕事は、安心・安全な通信サービスを提供できるように法令に基づいた制度を運用する仕事です。私が担当している内容は、事業者からの届出について審査や調査を行い、必要に応じて問い合わせにも対応します。実は、プラットフォーム上のユーザー同士がコミュニケーションを取れる通信サービスには届出が必要なものが多くあります。例えば、SNS やメッセージアプリ、オンライン会議のように音声や映像をやり取りする仕組みも、届出の対象になることがあります。

防犯カメラや冷蔵庫などの IoT 家電にも通信は使われ、私たちの生活を幅広く支えています。だからこそ、通信の利用形態と法令を照らし合わせながら適切に判断し、事業者をサポートすることが大切です。難しさもありますが、事業者の方が来庁されることも多く、現場の声を直接聞きながら取り組める点にやりがいを感じています。

仕事の覚え方については、入局して最初の約3週間は、組織理解やビジネスマナーなど、新社会人向けの研修があります。配属後は、直属の上司が隣で一对一で教えてくれるOJTが中心で、電話の受け方やメールの書き方のような基本から、法令の考え方で段階的に身につけていきます。わからないことは聞けばすぐ教えてもらえる環境です。職場の雰囲気も明るくて親切です。普段から雑談も多く、アットホームで質問しやすく、困ったことを抱え込まずに成長できると感じます。本当に「人の良さ」は、当局の美点だと感じます。

### 1日のスケジュール

## Schedule

8:30



始業、  
メールチェック

9:00



事業者からの  
電話問い合わせ

10:00



資格者証申請の  
処理・発行、  
補正依頼

12:00



同期や  
職場の先輩と  
ランチ

13:00



電気通信事業者  
との打合せ

16:00



本省からの  
作業依頼対応

17:15



終業



ギリシャ旅行で訪れた  
サントリーニ島



### 放送部有線放送課

第二有線放送担当  
令和2年4月採用  
事務官（社会学部 出身）

## 週次での振り返りなどを通じて、 若手を孤立させないOJT 多様な制度を活用してライフワークバランスも十分

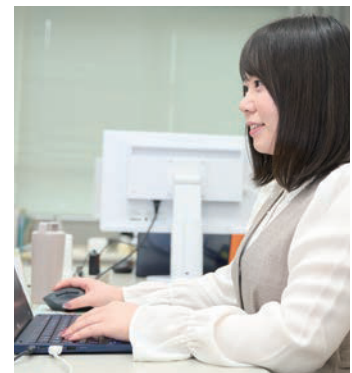
私の仕事は、近畿二府四県のケーブルテレビや有線ラジオなど、有線放送の許認可や監督に関わる業務です。事業者からサービスエリア拡大などの申請があれば、ケーブルの敷設区間や書類要件を確認し、手続きが適切に進むよう対応します。放送は、災害時の情報伝達にも使われる重要なインフラです。だからこそ、しっかりと法令を確認した上で、間違った案内をしないように対応することが大事です。その責任感がやりがいのとも感じます。

実際の仕事では、上司や同僚への報告・相談を徹底しています。すぐに問題になりそうにない話でも、事業者から得た情報はチャットなどで共有し、他の案件への影響がないか早めに確認します。トラブルにつながりそうな「兆し」の段階で気づいて、部署内で共有できることが大切だと思います。私自身、そうした能力を養いたいと考えています。

働き方の面ではライフワークバランスが良く、残業はほとんどありません。状況に応じてテレワークやフレックスも柔軟に活用できる点も魅力です。また、週次での取り組み内容の共有や振り返りを行って、若手を孤立させない教育環境が整っていて、質問をすればマンツーマンで丁寧に教えてもらえます。安心して仕事を覚えられる職場だと思います。



セルフジェルネイルがここ数年の  
マイブームです





### 無線通信部 陸上第二課

電波検査官  
 (第二公共担当チーフ)  
 平成 17 年 4 月採用  
 技官 (工学学部 出身)

## 有限・希少な資源である「電波」 その公平かつ能率的な利用を支える許認可業務を適切に行うため 法令を紐解き、丁寧な説明・指導を心がけています

私の仕事は、地方公共団体が使用する無線局を、各種の法令に基づき審査し、周波数割当や免許を付与するなどの許認可業務を行うことです。

例えば、防災行政無線など、実は地方公共団体も無線の使用者です。しかも、その用途は防災など緊急時に用いることを想定しているものが多いという特徴があります。

電波は誰でも自由に使えるものではなく、有限・希少な資源です。だからこそ、必要性を丁寧に見極め、法令に従って適切かつ公平に割り当てるのが欠かせません。特に地方公共団体が用いる無線は、地域の安心・安全に直結するものも多く、責任が伴います。

若手職員を教える立場になってからは、「前からこうだったから」と前例に沿って法令を当てはめるだけで終わらせないように意識しています。制度の趣旨まで立ち返って、なぜそういう判断になるかを紐解いて説明します。そうすることで理解が深まり、別の事例に直面しても、自分で考えて判断できるようになるからです。私自身も完璧ではないので、一緒に学ぶ姿勢で向き合いたいと思っています。遠慮せず、気になったことは気軽に聞いてほしいですね。

働き方の面でも、この職場には魅力があります。

近畿二府四県を管轄する拠点は大阪に一か所で、本省出向時を除けば転勤が基本的にありません。生活設計を立てやすく、腰を据えて専門性を深められる環境だと思っています。



自宅のベランダで自転車を整備しているところ

04



### A: 電波監理部監視課

第一監視担当  
平成31年4月採用  
技官（工学部出身）



トレーニングで明日への  
活力をチャージ

05



### B: 電波監理部調査課

監視施設担当  
令和元年10月採用  
事務官（総合工学システム学科出身）



週末の子どもとドライブで  
リフレッシュしています

## 現場と企画が両輪になって支える電波の安全 フラットなコミュニケーションが推進力に

電波監理部は、正しい電波利用の周知・広報を行いつつ、不法な無線局の探査や処分などにも対応する部門。広報イベントを行うこともあれば、シビアな妨害電波探査も担当するなど、幅広い業務に対応する部門です。今回、実際に不法電波の探査などを担当する監視課と、電波発射源の位置特定を行う電波監視システム「DEURAS（デューラス）」をはじめとする設備について整備や保守の計画立案などを行う調査課、それぞれから職員1名が参加し、対談を行いました。日々、どんな連携や交流があるのかをまとめます。

- A** 私は重要な無線通信の監視を担当しています。警察や消防、航空、防災行政無線などに、妨害や障害が生じたときに対応します。現場に赴き、原因を特定して取り除くのが仕事です。
- B** 私は調査課で、電波監視システム「DEURAS（デューラス）」の保守や管理、整備計画を担当しています。デューラスは、電波発射源の位置特定をするものです。私たちが設備として安定稼働させる役割を担っています。
- A** 実際、日常的に部門間の連携は行なっていますよね。調査時に気づいた点は調査課へと共有します。
- B** 本当に助かります。調査課は、監視課から寄せられるものも含めて多様な情報をもとに、点検や修理の段取りを組んだり、整備計画を立てたりします。現場目線の情報があるから、適正かつ効率的な計画が立案できます。
- A** 連携のためにも、コミュニケーションは大事だと思います。当局は部署間の壁が無く、本当にフラットに話せるので相談も持ち掛けやすいですね。
- B** 同感です。私も、ちょっとしたことでも相談しやすいと感じます。仕事で生じた悩みなどは、上司や周囲がすぐ相談に乗ってくれる点はうれしいですね。

- A** 仕事の話だけでなく、プライベートの話も垣根なくしますよね。お互い子どもがいるので、自然と「パパトーク」になります。ベッドはどれがいいとか、沐浴どうしてたとか。
- B** ありますね。私は子どもが生まれたとき、産後パパ育休を含めて通算で2か月間取得しました。もちろん休んでいる間の業務について、事前の調整はしましたが周りが「取って当然」という空気で、気後れがまったくありませんでした。新生児期って本当に短いので、その時期に沐浴や身の回りの世話をしっかり経験できたのは大きかったです。
- A** 私も1か月の育休を取りましたが、そのとき「1か月でいいんですか?」と言われるくらいでした。実は今、第二子の出産を控えていて、次は半年くらい取ろうかと調整しているところです。多様な制度を柔軟に使えるので、男性でもライフイベントを過度な負担にせず迎えられることは安心材料になると思います。



## テレワークの活用を推進

総務省では、職員の多様な働き方を実現するため、テレワークの活用を積極的に推進しています。これまで主に育児や介護を行う職員が中心でしたが、現在ではそれ以外の職員にも利用が広がり、業務内容に応じて柔軟に働くことができる環境が整いつつあります。これにより、ライフワークバランスの向上と業務効率化の両立が図られています。

### 仕事が終わらないとき、上司や先輩に聞きづらい？

メールだけでなく、社内チャット機能や通話を用いて、資料や画面を共有しながら気軽に質問・相談することができます。

### テレワークのいいところは何？

通勤時間がなくなる分、時間を有効に活用することができます。オンライン研修や会議では、集中して参加することができます。

### 紙でのやりとりが多いんじゃないの？

電子申請や押印廃止、ペーパーレス化が進み、在宅でできる業務が増えました。一方で紙対応の業務もあるため、出勤日とテレワーク日で仕事を分け、メリハリをつけて取り組んでいます。

## 出産・育児に係る両立支援制度

女性取得率 **100%**

●他にも活用できる制度を導入!

産前・産後  
休暇

育児休業

在宅勤務

通勤緩和

休憩時間の  
短縮

フレックス  
タイム制

看護休暇

早出遅出・  
時短勤務

男性職員も  
取得率

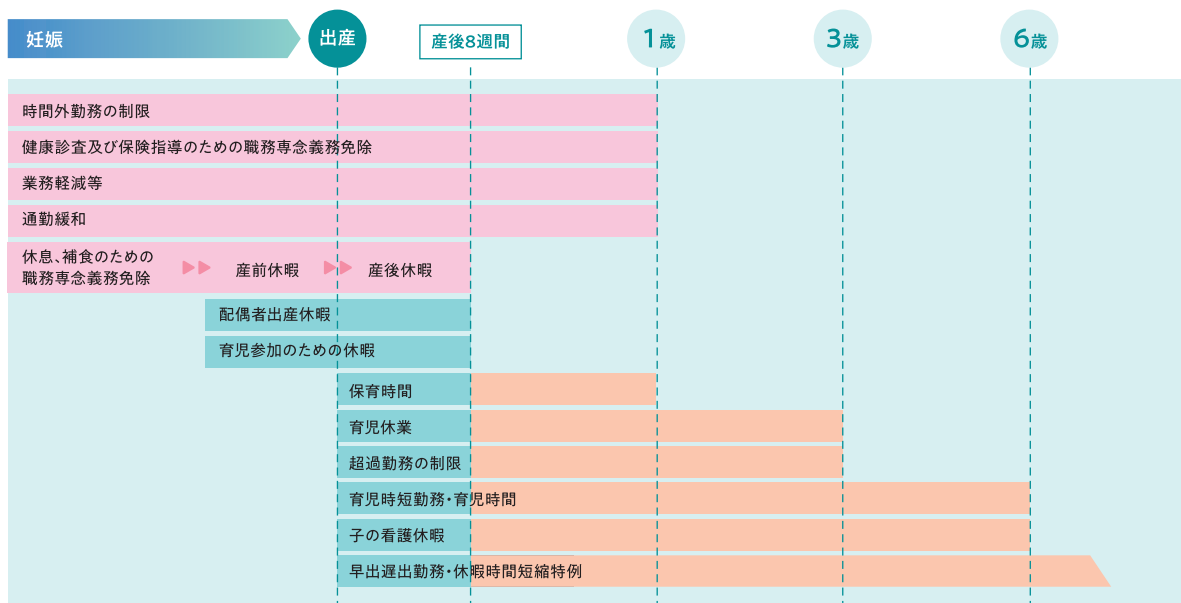
**100%**

配偶者  
出産休暇

育児参加  
休暇

在宅勤務  
(テレワーク)

子どもが3歳になるまでは育児休業を取得できるほか、育児短時間勤務や子の看護休暇など、子育てと仕事を両立するための多様な両立支援制度があります。男性職員についても、妻が出産する場合の休暇（配偶者出産休暇、育児参加のための休暇）が設けられています。職場の仲間がお互いを理解し、それぞれの育児事情にあった制度を活用することで、子育てをしながら、無理せずに活躍し続けることができます。



※フレックスタイム制を活用することで、勤務時間の変更が可能です。テレワークも活用できます。

■：女性職員のみ ■：男性職員のみ ■：女性職員・男性職員とも

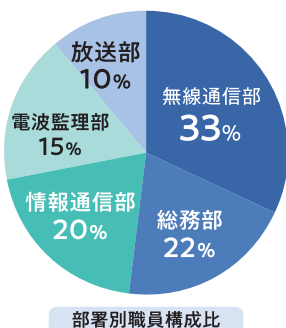
入局前に知りたかった！

# 先輩が教える働き方Q&A



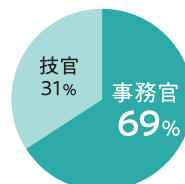
## Q2 採用後の配属は？

本人の希望や、適性などを考慮して、多くの部署での業務経験を積んでもらうため、おおむね2～3年ごとに担当業務が変更となります。配属先や業務内容については、行政系と技術系の区別はなく、各人が持てる能力を最大限に発揮できる人事配置を行っています。



## Q1 技術が必要？ どんな人材が求められていますか？

採用に当たっては、試験区分や文系、理系にとらわれず、やる気や可能性を重視した人物本位の採用を行っています。公務員としての役割を認識し、また、協調性をもって何事にも積極的に取り組み、自分の能力を最大限に活かそうと努力する意欲あふれる人材を求めています。



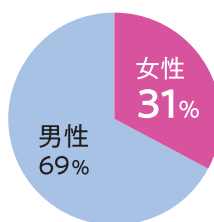
## Q3 過去の採用人数は どれくらいでしたか？

採用年度	R8	R7	R6	R5	R4
国家一般職（大卒程度） 行政近畿	6 (3)	4 (2)	7 (4)	6 (4)	12 (6)
国家一般職（大卒程度） 技術（全区分）	0	1 (1)	1 (1)	0	1 (0)
合計	6 (3)	5 (3)	8 (5)	6 (4)	13 (6)

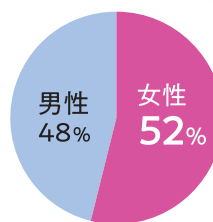
※（）内は女性採用者の内数です。

## Q4 男女比は？ 女性は活躍していますか？

育児休業、時短勤務やテレワークなどの活用を推進することで、男女を問わずライフステージの変化に対応しながら、安心して長く働き続けられる環境を整えています。仕事と家庭を両立し、一人ひとりが持てる力を発揮できる職場です。



男女比（全職員）



男女比（40歳未満職員）



## Q5 勤務地はどこですか？

**大阪市中央区（大阪合同庁舎第一号館4Fのみ）**

近畿二府四県を管轄する管区の機関ではありますが、出張所・支所がありません！

異動に伴う引越しの心配がなく、安心して働けます。



Q6

電波や通信の知識はありません  
入局後の技術的な知識は  
どうするの？

職員育成に絶対の自信

採用前に電波や通信の知識がなくても大丈夫です！  
採用後の新任研修や各種業務に直結した専門研修が年間を通じて活用いただけます。  
また、職場内でのOJTも充実していますので、仕事に取り組む中で、技術的な内容についても無理なく理解できるようになります。



Q8 残業時間は？

平均月 6 時間未満

部署や時期により異なりますが、全職員が充実したアフターファイブを過ごしています。



Q10

休暇は  
取りやすいですか？

ライフワークバランスの観点から休暇取得に力を入れています！  
昨年の年次休暇の取得実績として、職員平均取得日数は16日でした。(休暇承認率は100%) 夏季休暇の取得率は100%であり、年次休暇と合わせての長期の休暇取得も推奨しています。



Q7

勤務時間は？

基本的に 8:30~17:15  
休憩時間は12時から13時まで

土日及び祝日並びに年末年始（12月29日から1月3日まで）は休みになります。



Q9

出張の頻度は？

無線局検査、電波監視・調査など現地対応を伴う業務での出張はありますが、例えば比較的頻度の高い監視課でも日帰り出張が週1~2回程度です。業務の多くはデスクワークが中心となりますので、テレワーク等も活用しながら柔軟な働き方ができる職場です。



Q11

1年目でも  
テレワーク勤務できますか？

テレワーク利用率  
61%

採用直後など業務遂行にあたり対面でのフォローが必要な間には行えませんが、条件付き任用期間終了を目途に実施できます。





総務省

近畿総合通信局

## 採用に関するお問い合わせ



近畿総合通信局 総務部 総務課 職員係

〒540-8795 大阪市中央区大手前 1-5-44  
大阪合同庁舎第1号館 4階

☎06-6942-8507 (職員係)



大阪メトロ谷町線 天満橋駅 3番出口より徒歩2分  
京阪本線天満橋駅 東口から徒歩5分